

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2026年

SUMMER 夏

第222号

沢端川の梅花藻



水中

2～5P 6月定例会の概要・審議した議案
6～9P 市政に対する一般質問(7人)

10～11P 市民と議会の意見交換会
12P 人事・議員表彰・編集後記

議会を傍聴しませんか？

9月定例会は、9月3日(木)午前10時開会予定です。



インターネット中継



傍聴のしかた

6月例会 一般会計補正予算など24議案を承認・可決

令和8年6月定例会は、6月15日から6月26日までの12日間の日程で開催されました。

定例会初日、市長提出議案は、報告5件、専決8件、条例他3件、人事2件、予算3件の計21件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案43号から議案第52号は質疑の後、採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

一般質問は、6月18日・19日の2日間で、7人の議員が質問を行いました。

4日目（6月23日）、議案第53号から議案第58号までの質疑が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日（6月26日）の本会議において、市長提出議案2件（議案第59号および議案第60号）が追加提案され、質疑の後、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提出議案1件が上程され、全会一致で原案のとおり可決されました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により保険者等から「子ども・子育て支援納付金」を徴収することと

審議した議案の主なものは、これまで国民健康保険税に併せて徴収するための条例の改正と、賦課限度額の引き上げをするもの。

【質疑】子ども・子育て支援納付金課税額について、条例第9条の4から第9条の7に各

税率、税額が定められているが、どのような根拠に基づき算定したのか。

6月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
報告第2号	市長提案 令和7年度白石市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第3号	令和7年度白石市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	報告
報告第4号	令和7年度白石市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第5号	令和7年度白石市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第6号	令和7年度白石市病院事業会計予算繰越計算書について	報告
議案第43号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第44号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第45号	専決処分承認を求めるとについて（専決第2号） （白石市市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第46号	専決処分承認を求めるとについて（専決第3号） （平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例）	承認
議案第47号	専決処分承認を求めるとについて（専決第4号） （平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例）	承認
議案第48号	専決処分承認を求めるとについて（専決第5号） （白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第49号	専決処分承認を求めるとについて（専決第6号） （白石市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例）	承認
議案第50号	専決処分承認を求めるとについて（専決第7号） （令和7年度白石市一般会計補正予算）	承認
議案第51号	専決処分承認を求めるとについて（専決第8号） （令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算）	承認

【答弁】国民健康保険税の場合、財政の運営主体である宮城県が市町村ごとの納付金額に応じた標準保険料を示していることから、本市の子ども子育て支援金課税額は、所得割、均等割、平等割に加え、支援金制度において18歳未満の被保険者から均等割額を徴収しないため、その分を18歳以上の被保険者に負担したため、18歳以上均等割の4区分において、県の標準保険料率と同率に設定している。

【質疑】市長が「家賃債務保証業者」として適当と認める基準は。

【質疑】減価償却費の建物原価償却費の増額について、対象となる資産は何か。

【答弁】家賃債務保証業者事務取扱要綱を策定し、国土交通省の家賃債務保証業者登録規定に登録されている保証業者であることに加え、未払い家賃を保証することや、単身入居者の死亡などにより、住居内に残置物がある場合の処分費用を保証することを基準等とする予定である。

【答弁】令和5年度に着工し、令和6年度に竣工した公立刈田総合病院の3階病棟床改修工事である。

【質疑】経費の減額補正について、主な減額項目とその理由は。

【答弁】基本協定に基づく「地域医療確保交付金」は、令和7年度分の申請が無かったための減額であり、「給与特例措置交付金」は当初予算作成時の対象者から退職などの理由により人数が減少し、執行額に残が生じたための減額である。

◎白石市営住宅管理条例の一部を改正する条例

市営住宅入居者が連帯保証人を一人立てなければならぬと規定されている本条例において、昨今の社会情勢の変化に伴い市営住宅入居者等が連帯保証人を確保するのが困難になっている状況を鑑み、連帯保証人以外の選択肢として、民間の「家賃債務保証業者」を選択できるよう、条例の一部を改正するもの。

予 算

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第9号)(令和7年度白石市病院事業会計補正予算)

収益的収入を1億376万5千円減額し、収入総額を5億4879万9千円とし、収益的支出を1億376万5千円減額し、支出総額を5億6073万3千円とする。

◎令和8年度白石市一般会計予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億4943万6千円追加し、予算総額を212億5295万3千円とする。

議案第52号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号)(令和7年度白石市病院事業会計補正予算)	承認
議案第53号	財産の取得について	原案可決
議案第54号	白石市森林等における火入れの規則に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第55号	白石市営住宅管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第56号	令和8年度白石市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第57号	令和8年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第58号	令和8年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第59号	小型動力消防ポンプ積載車(軽四輪駆動車)の取得について	原案可決
議案第60号	令和8年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議提第2号	議員提案 免税軽油制度の継続を求める意見書	原案可決

【歳入】

○固定資産税(償却資産)

3億6千万円

○ツキノワグマ対策事業

500万円

○海外プロモーション委託料

1803万5千円

○壽丸屋敷門・板塀修繕工事

811万8千円

【歳出】

○生活扶助費(最高裁追加給付)

2572万8千円

○地球温暖化対策事業

1627万円

【債務負担行為】

○南蔵王休憩所指定管理者委託料(令和8年度追加分)

241万5千円

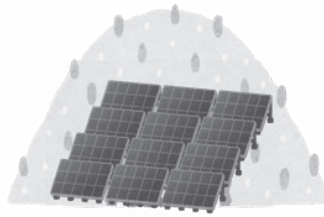
○白石市農業振興事業補助金

900万円

【質疑】固定資産税償却資産分補正について、当初予算額との賦課額に差が生じた理由はあるのか。

【答弁】当初予算編成時にあって、新規太陽光発電事業分の詳細な算定資料が存在しなかったため、発電規模に国が公表する「1キロワットあたりの資本費」を乗じて仮の評価額を見込んでいた。一方、固定資産税の賦課時点では、令和8年度の償却資産申告書に基づき、正確な評価額を算定している。

なお、当初予算額との差が大きくなった要因は、予算編成時に見込めなかった設計費や造成工事費が、償却資産に含まれたことが影響している。



【質疑】最高裁判決により、平成25年8月にさかのぼって生活保護の追加給付を行う補正であるが、遡及期間は相当に長い。対象世帯を何件と見込んでいるのか。

【答弁】平成25年8月から本年3月までの間に生活保護を受給していたことがある世帯が対象となり、本年4月1日時点で生活保護を受給中の212世帯と、生活保護を受給していない190世帯の合計402世帯を見込んでいる。

【質疑】省エネ家電導入促進補助金の内容および交付申請手続きの詳細は。

【答弁】国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、省エネ性能の高い家電製品導入費用の一部を助成するものである。

対象品目はエアコン、冷蔵庫および冷凍庫、テレビの3品目で、資源エネルギー庁が定めた「統一省エネラベル」多段階評価点「三つ星以上の

省エネ機器を対象とする。対象費用は購入、搬送、設置、撤去、リサイクル費用とし、補助率は導入費用の3分の1、補助金限度額は市内店舗・事業所からの導入の場合は5万円、市内量販店・ホームセンター等から導入の場合は2万円を予定している。

交付申請手続きは、対象期間に市内の住居に対象機器を設置後、交付申請書に領収書、保証書などの購入・設置を証明する資料を添えて提出する。

【質疑】ツキノワグマ対策事業について、1件あたりの補助上限額と何件の利用を見込んでいるのか。

【答弁】1件あたり10万円で、50件の利用を見込んでいる。

【質疑】今後追加で空き家にある不要な柿や栗等は対象にならないのか。

【答弁】令和7年度は空き家の柿や栗の所有者に自治会長等が市の誘引木伐採事業の内

容を連絡していただき、伐採に至ったケースがあることから、必要に応じて対応を行うとともに、ホームページなどで周知を図っていく。

【質疑】海外プロモーション事業を当初予算ではなく、補正予算として計上した理由と、事業実施時期は。

【答弁】本事業は、県の宿泊税を財源とした宿泊税市町村交付金を活用し、観光資源の魅力の増進等新規または拡充事業を行おうとするもの。

宿泊税市町村交付金の県要綱は、令和8年4月1日付で施行されたもので、本年度の当初予算編成時には間に合わなかったため、6月補正で提案した。

事業実施時期は、8月にシンガポール、10月にタイで開催される旅行博への出展を中心に事業を進めていく。



旅行博の様子

【質疑】令和7年度に実施した海外プロモーション事業を検証した結果、どのような効果があったか。また令和8年度の事業をより発展させる方策は。

【答弁】令和7年度は、富裕層向けに造成した一人65万円の2泊3日の旅行商品を台湾からのグループ6人に購入いただき、満足度アンケートの結果は5段階評価中4.83点となり、十分に満足いただいたと認識している。

令和8年度は、令和7年度の取り組みを一過性のものに

終わらせることがないよう継続的な海外プロモーションを展開し、本市へのインバウンド誘客をより確かなものに発展させ、地域経済の活性化につなげたい。

【質疑】タイを新たなターゲット国に加えた理由は。

【答弁】タイ市場は東南アジアで訪日者数が多く、リピート率が非常に高い。地方への宿泊率も東南アジアでは最も高く、地方へ向かう観光ニーズが高まっていると分析されていることや、仙台・バンコク間の定期直行便も冬ダイヤに再開される見通しで、交通アクセスの利便性が高まることとターゲット市場に加える大きな要因である。

また本年2月に本市の観光大使に就任した「佐藤三兄弟」はタイ政府の観光大使も務めていることから、佐藤三兄弟の協力も得ながら観光交流を発展させる取り組みも検討したいと考えている。

【質疑】壽丸屋敷門・板塀修繕工事の内容は。

【答弁】壽丸屋敷敷地内の門および板塀が、経年劣化による破損と倒壊の恐れがあることから、施設の景観と安全確保のため、門および板塀の修繕をするもの。

工期は当該施設の指定管理者である白石まちづくり株式会社と協議の上、年度内に完了するよう施工していく。

【質疑】壽丸屋敷門・板塀修繕工事期間中、貸館事業や観光客の見学はどのように対応するのか。

【答弁】工事期間中は可能な限り壽丸屋敷の利用を継続し、利用者への影響を最小限に抑えたいと考えている。利用者の安全を第一に、施工箇所の仕切りや案内表示を適切に設け、通行の妨げにならないよう安全確保に努めていく。

◎令和8年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)

【質疑】工事請負費880万円について、更新工事の内容は。

【答弁】農業集落排水事業越河地区の当該マンホールポンプは、処理場の西側、国道4号線付近に位置し、越河地区西側の広範囲の汚水を処理場に送るためのポンプである。

マンホール内に2台設置され、それぞれの負担を軽減し故障リスクを分散するため1台ずつ交互に運転する仕様で、そのうちの1台が故障したものの、2台のポンプとも設置から約20年が経過しており、故障の原因を確認したところ、故障した部品の修繕だけで対応できるものではなかったことから、今後も安定的な運用を行うため、同時に設置した2台のポンプを更新するもの。

◎財産の取得について

(仮称)道の駅しろいしの事業用地として取得するもの。

●取得物件(土地)

1万6534.76㎡

●取得の方法 随意契約

●取得予定価格

2億7244万6千円

●取得の相手方

白石市土地開発公社



意見書

定例会最終日(6月26日)、議員提案として意見書1件が上程され、全会一致で可決された。意見書は関係機関に提出された。

◎免税軽油制度の継続を求める意見書

免税軽油制度は、道路を走行しない機械等の動力源として使用する軽油について、本来課税される軽油引取税(1リットルあたり15円)を免除する制度であり、船舶、鉄道、農林、漁業、製造業など、幅広い事業の持続的発展を支える重要な施策である。

スキー産業においては、索道事業者が使用するゲレンデ整備車や降雪機などの動力源として欠かせないものであり、本制度が廃止されれば、索道事業者は大きな負担増を強いられることとなる。これは単に一事業者の経営維持が困難となるばかりではなく、地域の観光産業や周辺の経済活動に計り知れない悪影響を及ぼすことが危惧される。

よって、観光産業や農林水産業をはじめとする幅広い産業への影響に鑑み、免税軽油制度の継続について国に意見書を提出しようとするもの。

市政に 対する 一般質問

7人の議員が質問

6月定例会の一般質問は、6月18日・19日の2日間にわたり行われました。質問された要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

大内卓也 仙台南部工業団地について

佐久間順子 障害福祉サービスにおける虐待防止策について

佐久間儀郎 災害時におけるペット同行避難体制について

四竈英夫 本市の不登校の現状と対策について

佐藤龍彦 ナフサ不足による本市事業者への影響について

大森貴之 異常気象に対する市の対応について

伊藤勝美 本市の職員について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

仙台南部工業団地について

大内卓也



ている側面があるものと推察している。

◎東北楽天ゴールデンイーグルスの2軍拠点の誘致について

【質問】本市が打ち出すべき独自のアピール策について伺う。

【答弁】「市長」交通アクセスの利便性、公立刈田総合病院との連携によるスポーツ医療体制や、市内の温泉を活用したコンディショニング環境など、プロ野球選手が競技に専念できる環境を提供できる点は、当市ならではの特徴であると認識している。

【質問】仙台南部工業団地の区画を候補地として球団提示してみてもどうか伺う。

【答弁】「市長」特定の場合を候補地として決定

している状況にはない。仙台南部工業団地も含め、引き続き検討を行なっていくたい。

◎（仮称）地球共創大学院大学の設置進捗などについて

【質問】改修工事の着工予定時期について伺う。

【答弁】「市長」二期を6ヶ月と見込み、夏ごろ工事に着手。令和8年度中に工事を完了する予定と伺っている。市としては、令和10年4月の開学に影響はないものと認識している。

【質問】地域経済への波及効果と、定住促進について伺う。

【答弁】「市長」「地球共創学」を広く知っていただくためのオンラインセミナーを7月から計4回開催するなど、令和10年4月の開学に向けて、地域との連携の取り組みを着実に進めている。

障害福祉サービスにおける虐待防止策について

佐久間 順子



〔質問〕障害の特性上、自ら被害を訴えることが難しい利用者もいると考える。虐待の早期発見のため、どのような相談体制を整備しているのか伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕

仙南地域障害者基幹相談支援センターが夜間や休日を含め、24時間体制で専門の相談員が電話相談・通報を受け付けている。また、福祉サービスを利用する際、個別に担当する相談専門員が定期的に本人や家族と面会を行い、表情や行動の変化、身体の不自然な傷、衣服の汚れ、介護者の様子の

変化など専門的な視点で観察し、虐待の予兆や事実をいち早く察知している。

〔障害者虐待防止法〕

においては、虐待を受けたと思われるという確証のない疑いの段階での通報も義務づけられており、仙南地域自立支援協議会では、医療、福祉、教育、警察などの関係機関が日常的に情報を共有するネットワークを構築している。引き続き関係機関と連携し、虐待の防止や早期発見に努めていく。

〔質問〕〔障害者虐待防止法〕の周知や事業所への啓発について、今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

〔答弁〕〔市長〕虐待に対する正しい理解と通報義務の認知については、

広報紙でお知らせすると共に、毎年12月の「障害者週間」などの機会を捉え、障害の特性や権利擁護に関する啓発を行い、地域住民が障害者の権利侵害や異変に対して関心を持つ環境を作っていく必要がある。やうい言葉による行動制限」や「利用者の無視」といった不適切ケアについて事業所向けの研修を仙南地域自立支援協議会と連携して提供するなど、地域住民の目と事業所内のチェック機能の双方を高めるため「第4期白石市障害者計画」に基づき、市民向けの周知活動による早期発見の土壌づくりと事業所向けの実効性のある法令遵守の徹底について周知啓発活動を強化し、虐待の未然防止と早期発見に努めていく。

〔その他の質問〕

◎白石城観光資源の収益化について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

災害時におけるペット同行避難体制について

佐久間 儀郎



〔質問〕環境省は、飼い主がペットと共に安全な場所へ避難する「同行避難」を基本方針としているが、現実には受け入れに対する住民不安や避難所ごとの対応差、スペース不足、アレルギー問題など多くの課題が存在している。本市の受け入れ方針について伺う。

〔答弁〕〔市長〕指定避難所内の環境維持のため避難所の居住スペースの中にはなく、避難所が指定した場所で飼養を行うことなどの条件

を了承していただいた場合に、受け入れる方針である。

〔質問〕受け入れ場所、飼養ルール、動線分離等の具体の運営計画を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕避難所運営委員会が中心となって避難所の生活ルール作り、ペット飼養の具体的なルールなどは事例を参考に委員会が作成する。

〔質問〕ケージ、消毒資材、ペット用備蓄等の現状を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕ペット向け災害用品は備蓄していない。

〔質問〕獣医師会等との連携協定や災害時支援体制を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕県と公益社団法人宮城県獣医師会の間で「災害時における愛護動物の救援活動に関する協定書」が締結されており、県を通して獣医師会の支援などを要請する。

〔質問〕避難所運営訓練にペット同行避難を組み込む考えを伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕各避難所の運営訓練の中でペット同行避難訓練を実施する必要があるとされた場合には、危機管理課に相談頂ければと思う。

本市の不登校の現状と対策について

四電 英夫



るか伺う。

〔質問〕近年不登校の児童・生徒が増えているとの報道がある。病気や経済的などの理由以外で年間30日以上欠席した場合不登校とされているが、本市における不登校児童・生徒数の推移を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕令和5年度は小学校で63人、中学校で57人、合計120人だったが、令和6年度は小学校で53人、中学校で61人、合計114人と減少に転じ、令和7年度は小学校で31人、中学校で43人、合計74人とさらに減少傾向が続いている。

〔質問〕不登校の要因をどのように分析してい

〔答弁〕〔教育部長〕不登校の要因としては学習のつまずきや友人関係のトラブル、集団生活になじめない。生活リズムの乱れや家庭内でのトラブルによるストレスなど複雑な要因が関係している。

〔質問〕欠席が続く児童・生徒への対応を伺う。

〔答弁〕〔教育専門監〕教員による家庭訪問、放課後や別室への登校を行なっている。また子ども心のケアハウスも大きな役割を果たしている。教育支援センターのスーパーバイザーが全ての小中学校を訪問し助言している。さらに学びの多様化学校「白石きぼう学園」では現在38人の児童・生徒が安心できる居場所として基礎学力や社会

性を身につける学びの場を提供している。

〔質問〕スクールカウンセラー配置の成果を伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕市内全校にスクールカウンセラーを配置しており、児童・生徒や保護者への相談のほか、教員に助言や支援を行なっている。カウンセラーが専門的視点で支援を行うことにより、児童・生徒の心理的負担が軽減され、落ち着いて学習や学校生活に取り組みやすくなったとの報告を多数受けている。

〔質問〕スクールソーシャルワーカー配置の成果を伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕課題を抱える児童・生徒や保護者との面談、福祉・医療などの関係機関と連携して支援を行なっている。その結果、安心できる居場所と安定した学校生活が送れるようになったとの報告を受けている。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

ナフサ不足による本市事業者への影響について

佐藤 龍彦



口について伺う。

〔質問〕ナフサ不足の本事業者への影響についての認識を伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕ナフサ不足の影響については、国の説明では、全体として直ちに必要量が不足している状況ではないとの見解が示されているが、建設資材、農業用資材、医療用資材などの分野で、価格の上昇や納期の長期化といった影響が出ていると聞いている。市内でも流通状況は十分に回復してはおらず、市内事業者の経済活動に影響があるものと認識している。

〔質問〕事業者の相談窓

〔答弁〕〔商工観光課長〕ナフサ不足や、これに伴う原材料価格の高騰などの影響を受けた事業者に対しては、国や県において、各相談窓口が設けられている。具体的には、経済産業省や国土交通省などの特別相談窓口、宮城県信用保証協会の相談窓口、県の営農相談窓口など幅広い機関で設けられている。市としても、各担当課への相談に対応するとともに、関係機関と連携しながら、内容に応じて適切な相談先や支援制度を案内していく。

〔質問〕本市独自で支援をしていく考えはないのか伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕ナフサ不足や原材料価

格の高騰は、中東情勢に起因する全国的かつ広域的な課題であり、国や県において制度融資や信用保証、価格転嫁の支援、各種補助制度など幅広い事業者を対象とした支援制度が既に整備されている。市としては、まず国・県の支援制度を活用いただきながら、必要に応じて白石市中小企業振興資金制度など、市の支援制度を活用いただきたいと考えている。

〔質問〕事業者への今後の対応を伺う。

〔答弁〕〔市長〕今後もナフサをはじめとする原材料の供給状況や価格動向を注視し、関係機関と連携を図りながら、市内事業者への各種支援制度の活用に向けた情報提供を行なっていく。

〔その他の質問〕

◎エアコン購入・設置費用の助成について

◎本市の教育及び教育環境について

異常気象に対する市の対応について

大森 貴之



どのSNSを用いて情報発信を行う。

【質問】市内を流れる1級、2級河川を伺う。

【答弁】【建設課長】1級河川は白石川や斎川など計11河川ある。2級河川はない。

【質問】準用河川、普通河川はどのぐらいあるのか伺う。

【答弁】【建設課長】市管理準用河川の指定はなく、普通河川は沢端川や館堀川など52河川ある。

【質問】気象庁の防災気象情報を受信した際、市民への通達手段を伺う。

【答弁】【危機管理課長】危機管理課から緊急速報メールを配信する。同時に総務課を中心に、しろいし安心メールな

どのSNSを用いて情報発信を行う。

なお、スマートフォンなど無い方々へは避難対象地域の公民館へ、以降各自治会、消防団、自主防災会などを通じて情報伝達される体制を構築している。

【質問】市が行うしゅんせつ作業、護岸工事などの具体的な例を伺う。

【答弁】【建設課長】令和2年度から堆積土砂撤去を計画的に実施している。今後は過去に災害が発生した河川などを中心に土砂堆積状況を注視しつつ、計画的に実施していく。

【質問】市道に付帯する側溝等の清掃を市が行うべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】【建設課長】高齢化や人口減少は十分認識しているが、市内の

道路側溝等の延長は膨大で、市が全て行うことは極めて困難な状況である。地域の実情に応じた道路維持管理に努めていきたい。

【質問】堤防のかさ上げを検討してみたいか。

【答弁】【市長】内水氾濫対策として堤防かさ上げはその一つとして考えられるが、技術的課題や事業費なども総合的に精査しながら、その必要性・実現性について検討したい。

【質問】今後市として、どのように防災気象情報を生かしていくのか見解を伺う。

【答弁】【危機管理課長】指定避難所の開設準備、風水害時における職員参集の基準を定めた「風水害による白石市職員体制別任務表」を改正している。警報等の発表前でも早期避難・予防的避難を行う方々の受け入れに適切に対応する。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

本市の職員について

伊藤 勝美



不足しているものと認識している。

【質問】本市における直近数年間の採用試験の受験者数、倍率は減少傾向となっているが、採用の充足状況および現状の人材確保に関する市の課題認識についての見解を伺う。

【答弁】【市長】白石市定員適正化計画に基づく令和8年4月1日の目標職員数が356人であるが、4月1日現在の職員数は350人となっている。

退職者が多く正規職員を配置できない場合などには、必要に応じて会計年度任用職員を配置しているが、組織全体として正規職員が

人材確保に関する課題としては、公務員志望者が減少傾向にある中、自治体間の採用競争が激しくなっていること、若年層の退職者が増加傾向にあること、また職員の年齢構成が平準化されておらず、特に30代後半から40代後半までの職務上の経験・知識のある職員が少ない状況となっており、適正な人員を確保することが喫緊の課題であると捉えている。

【質問】労働人口の減少が進む中で、働き方の柔軟性は人材確保や職員定着における重要な鍵であると考えますが、今後の待遇・労働環境の改善についての見解を伺う。

【その他の質問】
◎生成AIの活用推進について
◎中東情勢に伴う公共工事への影響について

このような市なら 若者が住んでくれるのではないが

★働く場所と子育て支援の充実 → 若者定住には「働く・育てる環境」が重要との意見が多くありました

【主なご意見】

- ・企業誘致による賃金水準の向上を伴う雇用確保が必要
- ・自治会費など生活負担軽減も必要
- ・白石市独自の子育て支援の充実を望む
- ・産婦人科など医療体制の充実を望む

★学校再編は丁寧な検証を → 小中一貫義務教育学校等、学校再編について慎重な意見も寄せられました

【主なご意見】

- ・子どもの発達段階に配慮した教育環境が必要
- ・他自治体の事例を十分検証すべき
- ・白石市に合った教育環境の構築

★地域のつながりを大切に → 人との関わりや地域参加のしやすさを求める声がありました

【主なご意見】

- ・行事参加者が固定化している。幅広い世代が参加しやすい環境づくりが必要
- ・若者の意見を受け入れるための意識改革、日常的にあいさつできる地域コミュニティが必要

市政への関心を高めるために

★市民と議会の対話を継続

「もっと議員の考えを知りたい」「意見交換会を続けてほしい」との声がありました

【主なご意見】

- ・議会活動をもっと身近に感じたい
- ・意見交換会など若者が参加しやすい取り組みをする

◆第8回(R7.3月開催)意見交換会のご意見に対する主な取り組み◆

- ・公民館事務員処遇改善について……………第473回定例会 一般質問
- ・白石駅と白石蔵王駅とのアクセスについて……………第475回定例会 一般質問
- ・公立刈田病院小児科入院の再開について……………第475回定例会 一般質問
- ・不登校対策について……………第472・476回定例会 一般質問
- ・空き家の防犯対策について……………第475回定例会 一般質問
- ・農業の現状と展望について……………第475回定例会 一般質問

◆今後の取り組みについて◆

意見交換会の開催にあたり、参加者の皆さまからいただいたご意見は、各常任委員会などにおいて、行政効果や実現の可能性などを調査・検討し、市に対して政策提言や要望の必要があると判断したものについては、その実現に努めます。

また、各議員はいただいたご意見などを参考とし、議会における議案質疑や一般質問などの場において、市政課題の解決に努めます。



松野議長への報告
(左:政策企画調整会議 四籠委員長、右:松野議長)

～開かれた議会を目指して～ 市民と議会の意見交換会



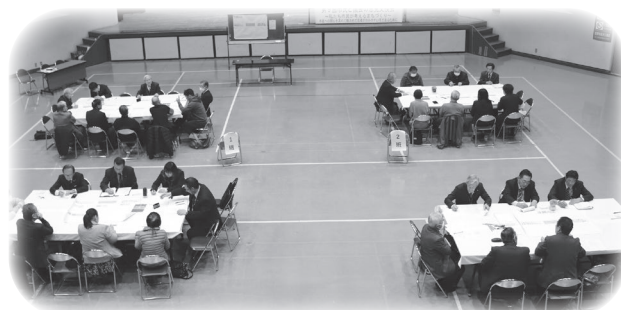
市民と議会の
意見交換報告書

通算9回目となる「市民と議会の意見交換会」を令和8年3月15日(日)午前と午後の2回、白石市中央公民館を会場に開催しました。

今回も「私たち市民が考えるまちづくり」のテーマに沿って、4つのグループに分かれて、ワークショップ形式により意見交換会を行いました。

延べ32人の市民の皆さまの参加により、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

いただいたご意見の一部をご紹介します。



意見交換会の様子

テーマ《私たち市民が考えるまちづくり》 ～市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために～

◆総合的な意見のまとめ◆

- ①生活の利便性の向上、観光による市の活性化
→生活基盤の改善が若者にも高齢者にも共通のニーズである
- ②若者定住のための手厚い支援
→安定した収入が得られる雇用創出、子どもや女性に配慮した出産・子育てしやすい環境づくり
若者が地域とのつながりを実感できるコミュニティの形成
- ③市政への信頼のために議員との対話は必要不可欠
→市政への信頼は、対話の量と質で決まる

まちづくりの実施可能なアイデア

★交通の充実を求める → 市民バス「きゃっするくん」の利便性向上、交通空白地域への対応を求める声が多く寄せられた

【主なご意見】

- ・「きゃっするくん」利便性の向上・・・便数増加、待ち時間が長く利用しづらい
- ・デマンド型交通の導入事例を研究してほしい
- ・郊外地域の交通環境改善が必要・・・中核病院への通院手段の確保

★公共施設をもっと利用しやすく → 若い世代が集まりやすい環境整備を望む

【主なご意見】

- ・図書館や公民館を使いやすく整備する・・・Wi-Fi環境整備、予約の簡素化も
- ・高校生や子どもたちが利用しやすい場所にする
- ・休止・廃止される公共施設の速やかな活用・転換
- ・施設は造って終わりではなく、いかに維持し、活用するかが大事

★観光振興の強化 → 観光資源を生かし、交流人口増加につなげるべき

【主なご意見】

- ・白石城を起点とした観光施策を展開・・・観光バスが入りやすい道路整備が必要
- ・観光案内板をわかりやすく整備してほしい
- ・観光大使佐藤三兄弟の来白による観光客・移住者の増加につなげる
- ・情報発信の強化(SNS等)

人事

6月定例会において、次のとおり任命することと同意しました。

【教育委員会委員】

(任期：令和8年7月1日～令和12年6月30日)

大橋 扶美子 氏

【農業委員会委員】

(任期：令和8年7月20日～令和11年7月19日)

高橋 和也 氏
村上 さき 氏
木須 敏文 氏
佐藤 咲雄 氏
山田 恵 氏
江戸 千佳雄 氏
日下 宗一 氏
大野 孝 氏
押野 一郎 氏
遠藤 俊夫 氏
齋藤 義博 氏
半澤 武夫 氏
島山 基氏

議員表彰

去る5月27日に開催された第102回全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

◎一般表彰

(議員在職10年以上)

松野 久郎 議員
佐藤 秀行 議員
佐藤 龍彦 議員

議会を傍聴してみませんか？

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。

また会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行なっております。

ぜひ、スマートフォンやパソコンなどでご覧ください。

〈6月定例会〉

- 傍聴者のべ人数 14人
- ライブ配信視聴回数 321回
- 録画視聴回数 622回



インターネット中継



傍聴のしかた

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

白石市のホームページに会議録を公開しております。

キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。

どうぞご覧ください。

編集後記

今号の議会だよりでは、6月定例会の審議結果や市政に対する一般質問の概要を掲載いたしました。

本定例会でも、市民の皆さまの暮らしに直結する市政課題について、活発な議論が交わされました。

紙面の都合上、全ての内容をお伝えすることはできませんが、今後もより分かりやすく、信頼される議会だよりを目指してまいります。

これから本格的な夏を迎え、地域ではさまざまな行事が開催されることと存じます。

熱中症などには十分にご留意いただき、健やかにお過ごしください。

議会広報委員会

佐藤 龍彦

議会広報委員会 委員

委員長 夫由紀
副委員長 大治彦
委員 龍彦
委員 秀明
委員 貴之
委員 順子
委員 卓也
委員 四村
委員 角張
委員 佐藤
委員 高子
委員 大森
委員 佐久間
委員 大内